

シューティングメダルゲーム(仮)



参考出品

メダルを銃に詰めてザコを狙って連射。メダルが命中するとスロットが止まって、メダルが払い出されたり、ボスが落下してきてり、ハズレだったりといろんなことが起こり、ボスに命中すれば撃ちまくりのボーナスゲームのチャンスも。連射、撃ちまくりは、やっぱりコインシューティングの醍醐味だよな。あースッキリ！  
第2弾、第3弾も続々登場予定!!

料理の達人



ナムコ「達人ゲーム(達ゲー)」第一弾。炒め物をするときの要領で中華鍋を前後に振り、鍋の中のボール、料理でいえば「具」をリングに通し、通した回数で景品が決まるというもの。普段、料理をする人のほうが有利かといえば、そういってでもない。料理が苦手という人も十分に鉄人気分を味わえちゃうのがうれしい。最大3コまでの景品をゲットでき、これなら、だれもが料理の達人。

トラック狂走曲



ハンドルを握る手にもつつい力が入り、気づくと我を忘れるほど熱くなっている。そんな本格的なトラックー気分が味わえる豪快で臨場感に溢れるドライブゲームが登場。トラックならではの豪快な走り、大型車ならではのドライビングテクニックを試されるコース展開、キャラクターに応じたストーリー性など、ゲーム性も充実。さらには、シートやハンドルカバー、エッチングステンなど細かい部分のディテールにもこだわりが感じられ、あの「トラック野郎」を彷彿せぬにはいられない。そして、いやでも気分を高揚させてくれる最強のBGM、炎の男・冠二郎が歌うロック演歌は、ゲームを盛り上げるのにはなくてはならない存在だ。



# AOU 2000

## アミューズメント・エキスポ

2月25、26日の両日にわたり、幕張メッセで開催されたゲームの祭典、AOU。業界内外から熱い注目を浴びつつ、2000年というメモリアルなこの年に発表される話題の新作がズラリ一堂に会した。ド派手なデコトラがひととき目をひくナムコブースのデモンストレーションも高かった、そして熱かった。そんな気になるナムコの新作ゲームを一挙に紹介しよう!

AOU 速報 プレイヤーは語る



それぞれのゲームメーカーが思い思いの個性を活かし、演出されたブースは、華やいだ雰囲気だ。会場の中では、奥の方に位置していたにもかかわらず、ナムコブースは確かに目立っていた。それもそのはず、「トラック狂走曲」の存在をアピールするためにブース前方に置かれた本物のアート・トラックには、だれも立ち止まらずにはいられない迫力だ。それだけ手の込んだ代物なんだ、これがまた、BGMには、「セイヤツ!」でおなじみ冠二郎のロック演歌がガンガンに流れている。気分は高揚してきて、一気にトラックー気分だ。ここでは、こんな具合にあれよあれよという間にゲームの世界へ引きずり込まれてしまふ。

新作はどれも注目を集めていたようで、ゲーム機の前には長い列ができていた。ことに、「トラック狂走曲」「ゴルゴ13」「ワールドスタジアム2000」と、「新日本プロレスリング闘

ワールドキックス

選手の移動、シュートやパスの方向設定はレバーで、パス、シュート、タックルは、足下についているサッカーボールを実際に蹴るため、ピッチに立ってプレイしているサッカー感覚が肌で感じられる蹴りゲー。一人はもちろん、1台で4人、通信を使えば最大8人でプレイが可能だ。グループ同士の対戦なら、盛り上がることもまちがいない。隣のプレイヤーと距離が近い分、自然とかけ声も大きくなり、否応なしに熱くなれる迫力のスポーツもの。



ゴルゴ13



劇画界のヒーロー、「ゴルゴ13」がついにゲームに登場。原作そのままのタッチと独特な雰囲気緊張感を生む。仕事を依頼されたら、限られた時間内にいかにチャンスを逃さず、確実に、一発必中の狙撃を決める。ゴルゴ13の愛銃をモデルにしたずっしりと重量感のあるライフルを使って、不可能に挑むスリリングなスナイプ・シューティングゲーム。狙撃に失敗すれば、信頼度を失い、ニセモノの烙印を押されてしまう。つねにゴルゴ13の世界観の中でゲームが展開されていくため、より興奮度もアップ。



バッティングキング

トスアップされるボールを目の前の9分割されたパネルにバットで打ち返す「ナインターゲットゲーム」、パネルに当てて、その結果進捗し、打点が入る「打点王ゲーム」の2モードから選ぶことができる。女性でもプレイしやすいようにラケットも用意。さあ、パーフェクトをめざすか? 打点をめざすか? 今日の気分はどっち!?



ドンとアップ

欲しいものはジャンプして、ゲット! グリーンターゲットランプが表示されたら、いざジャンプ。ターゲットランプと同じ位置に赤いジャンプランプを止めることができればゴウカな景品を手にすることができる。たとえ、失敗してもコンティニューすれば、前回のターゲットはそのまま、新たにターゲットを1マス増やして再プレイ。最大6マスまでターゲットが増えるから、トライするほどチャンス拡大!。ジャンプの微妙なタイミング、飛び上がるパワーでジャンプランプの位置をコントロールできるようになれば、こっちのものだ。

こちら『トラック狂走曲』をやってきたばかりのアクティブな女の子。「最高におもしろかった。あのトラックはイチオシ。ゲームセンターには週2回くらい行けれど、リアルに体感できるゲームがお気に入りです。そういう意味でも『トラック狂走曲』は、！」



リアルな体感ものが大好き!!  
『トラック狂走曲』絶対オススメです。

曾我部香之さん (21歳)



11歳にして、驚きのテクニックを披露!  
谷古有花梨ちゃん (11歳)

11歳の有花梨ちゃんは、幼稚園の頃からゲームセンターへ行き始めたというから、この年齢にしてすでに5-6年のゲームキャリア。『スイートファクトリー』系が得意で景品もけっこうゲットしているとか。今日はお父さんといっしょ。まだ来たばかりだというのにすでに景品をゲットしていました。「『ドンとアップ』4回目の挑戦で景品をもらいました。」すっごくイゼ!

ゲームセンターで働いているというカップル。毎日ゲームに囲まれていても忙しくて、なかなかゲームをする時間がないとか。今日ではどんな新作が出ているのか楽しみに来たという。「さっき、プロレスのゲームをやってみたけれど、技を出すタイミングが難しかった。音ゲーが好きなので、これからやるつもりです。」(末光さん)「見た限りでは、『ゴルフ13』にひかれます。やってみたいですね。あとは、多人数でプレイできるゲームが好きなので、サッカーもやっていきます。」(仲さん)

末光博子さん (20歳)  
仲 幸博さん (24歳)



ゲームセンターで働く2人は、音ゲーとシューティングが好き。

『トラック狂走曲』大絶賛!

澤田数馬くん (25歳)  
井上潤一郎くん (24歳)



『トラック狂走曲』を終えてきたばかりの興奮さめやらぬ2人に直撃。「これはイデですよ。キマよ絶対。見た目のインパクトも強烈だし、ゲームは見たインパクト以上にすごく面白い。早く2を出してほしい、期待してます。」(井上くん)「ちょっと気の早い感があるけど、それだけ気に入ってくれたってことだね。「いや、おもしろかった。『悪』のトラックと対戦形式にしても盛り上がるんじゃないかな。クラクションで前の車をどけても対向車を避けられないシーンがあるけど、あれって誤ってほくて悔しい!やるなーって感じ。」(澤田くん)

多人数で遊べるゲームに注目したい。

萩原秀幸さん (26歳) ・ 古村昭彦さん (24歳)



スーツ姿の業界の人を発見。仕事中、ちょっと失礼してお話を聞いてみると、ゲーム業界人はやっぱりゲーム好きだった。「『ゴルフ13』がおもしろかったですね、ターゲットを見つけるのが難しかったけれど。」(萩原さん)「個人的には、小さい子から大人まで楽しめるような『料理の達人』がよかったです。最近の傾向としては、多人数で楽しめるゲームに人気が集まっていますから、サッカーや対戦モノは要注目ですね。」(古村さん)

## プレイヤーは語る

AOUに集まったプレイヤーたちに、今回のイベントの印象やナムコの新作についての感想を聞いてみた。ここでは、その一部の声を紹介しよう。

中学3年生の2人は、受験生ということもあって、最近あまりゲームセンターに行かないので、今日は久しぶりに楽しくていくつもりとか。「サッカーのゲームを2人でやりました。面白いけれど、コツを覚えるまではちょっと難しそう。」(鈴木くん)「ぼくは、みだんから釣りモノが好きでよくやっています。バス釣り系のゲームをつくってほしいな。」(八代くん)



今日だけは、ちょっと勉強のことを忘れて楽しんでいます。

八代皇聖くん (15歳)  
鈴木隆二くん (15歳)

週に2-3回はゲームセンターで遊ぶという女の子の2人組。「個人的には音ゲーが好きだけど、あのトラックおもしろそうですね。」(小谷さん)「難しいボタン操作じゃなくて、自分の足や手を実際に使ってやるゲームが好き。気分がスカッとするじゃないですか。」(野下さん)



気分のスカッとするゲームがやりたーい。

小谷真由美さん (21歳)  
野下和歌子さん (22歳)

パズル系とドライブものははずせません。

古谷洋さん (29歳)



まさに、今来たばかりという古谷さん。「まだ何もトライしていないんです。ただ、見た感じで面白そうなのは、あのトラックですね。自分で運転するドライブものが好きなので、それから、パズル系もよくやるので、新しいパズルものが出てほしいようなので、それぜひやってみてほしいですね。」

月に1回はファミリーでゲームを楽しむという三角家は、AOU初体験。

三角佳範さん  
庸子さん  
優果ちゃん (6歳)  
侑大くん (3歳)



ファミリーでゲームを楽しんでいるという三角さん一家。ちなみにご主人はゲーム関係のお仕事だとか。「上のお姉ちゃんが4歳の頃からゲームセンターに行き始めて、景品キャッチャーものをよくプレイしています。」(庸子さん)「レースものが好きです。基本的に体を使って遊ぶタイプのものが得意なので、スポーツ系やダンスものもおもに楽しんでいます。」(佳範さん)

## スーパーワールドスタジアム2000



これまでのモードに新たに加わったのが、全席カウント2-3からスタートするエキサイティングな「一球勝負モード」と15・45・135試合のいずれかを戦い抜き、制覇すると日本シリーズも楽しめる「ペナントレース」。スロットリンク機能により、家庭用で育てた「分身くん」をゲームで活躍させることも可能になった。データがセーブできるから、ペナントレース同様の135試合の長丁場にもぜひトライしてみたい。

## スロットリンクシステム



新型汎用ビデオ筐体・サイバードIIでは、家庭用ゲーム機のデータと業務用ゲーム機データをメモリーカードなどの外部記憶媒体を使用して互換させるスロットリンクシステムを搭載した。スロットは各2個ずつあり、PS用メモリーカード、DC用VMの両スロットを備える。将来的には自分の家で育てたキャラクターデータをお店に持っていき、ゲームを楽しんだら、その結果をもとに再び家でそのキャラクターを育てる、オリジナルキャラ同士での対戦といった使い方が可能となる。ゲーマーにとっては待ち望んでいたシステムだ。

## 新日本プロレスリング

## 闘魂烈伝4 ARCADE EDITION

©1999 NJPW  
©1999 TOMY GYUKE'S



前作に比べて、レスラーの数が激増したゾ。なんと42人が勢揃い。タッグモードでは、最大4人で対戦することも可能だ。何と云っても、今回の目玉は、サイバードIIの機能である「スロットリンクシステム」を採用したこと。ドリームキャスト用ビデオリアルメモリを使用し、家庭用でエディットしたオリジナルレスラーをゲームで使用する。しかも、そのデータは基板に保存され、ゲーム中敵キャラとして登場したり、キャラ選択画面にも顔を並べる。

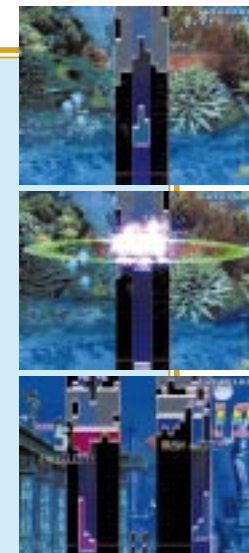
魂烈伝4 ARCADE EDITIONでは、21世紀型の新しい遊び方ともいえるスロットリンクシステムを採用。ゲームデータを保存して、家庭とゲームセンターの両方で楽しめるというもの。これは今後の展開からも目が離せそうにない。仲間同士でワイワイ遊べるサッカーゲーム、ワールドキックス。"達人ゲーム"達(ゲイ)「ジャンル第一弾の料理の達人、"ドンとアップ"や"パティンクキング"は体を使って遊ぶタイプのゲーム、ファミリーでも盛り上がりそう。また、パズル定番のおもしろさに新たな操作を加え、パワーアップさせた"アクアラッシュ"、本格派シューティングの"ブレイブブレイド"。コインシューティングの爽快感とメダルゲームを融合した"シューティングメダルゲーム(仮)"(参考出品)は、新しい面白さを追及している。

2000年のゲームシーンは、すでに大きなムーブメントを起こしている。さあ乗り遅れるな、未体験のエキサイティングゾーンが君を待っているのだから!

## アクアラッシュ

業界初の新感覚なパズルアクションがついに現れた。ボタン操作でブロックを伸ばして形を変え、横1ラインを隙間なく埋め込みラインを消していく。この要領でラインを消していき、一番上のクリアブロックを消すとステージクリア。巨大連鎖の応酬で一発大逆転もあり。あまりの爽快感にやみつきになりそう。ナムコHPには、アクアラッシュのオフィシャルタイムランキングを掲載中。自己タイムは、忘れないうちにエントリーを。携帯電話(iモード)でのエントリーも可能だぞ。

上から下がってくるブロックの隙間に、ピースの形を変形させ、素早く埋め込む。横一列並べば、ラインは消える。下がってくるブロックが画面下の赤いラインを越えてしまうとゲームオーバー。



## ブレイブブレイド



敵を打ち砕くため、5人の勇気ある戦士が戦う本格派縦スクロールシューティング。3つのボタンのうち、Aボタンは機動性が高い戦闘機形態で攻撃。Bボタンは破壊力が高い騎士形態で攻撃することができる。また、敵を倒すと上昇するガードゲージが一定量あれば、Bボタンを押し続けることで、敵弾を防ぐことが可能。さらにガードゲージがMAXでCボタンを押すとコア覚醒!一定時間無敵で攻撃することができるのだ!ストーリー性の高いゲーム展開だけでなく、敵を破壊すると出現する勳章による点稼ぎも最高に熱い一作だ。

©EIGHTING / RAIZING2000

## プライズ



全国のAMスポットでは、ナムコの飛び抜けてかわいい景品は話題的。PS用ゲームSCEの「どこでもいっしょ」のトロ、ジュン、リッキーたちや、「Xi」のAQUIちゃんなど各シリーズとも人気沸騰中だ。おなじみのナムコキャラクター景品もぬいぐるみ、キーホルダー、貯金箱などゲーマー心をくすぐるラインナップだ。

